

にじっ子

🌸🌸🌸 コミュニケーション力 どう育てればいい? 🌸🌸🌸

5月の開級式の頃とくらべると、できることがとても増えて、**一人ひとりの成長がよくわかります**。2, 3才になると相手の言っていることを理解できるだけでなく、自分の意思をかなり上手に伝えられるようになります。しかしまだ、親の言われるとおりにしたり、指示に従ったりは十分にはできずに、わがままや気まぐれな行動とも思えることも多いです。友だちに対しても自己主張をするようになり、自分のおもちゃを友だちに貸せなかったり、自分が使っているおもちゃで友だちと一緒に遊ぶのを嫌がったりすることがおこってきます。相手が子どもだと親のようにには合わせてくれないので、**自己主張のぶつかり合いになります**。時にはけんかになるでしょう。しかし、こうしていろいろな経験をしながら、自分と同じように、他人にも欲しがる気持ちがあることを学び、**少しずつルールや思いやいを学んでいく**のです。



時には友だち関係の中で怒ったり泣いたりすることもあるでしょう。そんなときに必要になるのが親の支えです。そこで、**子どもが親に何でも言える関係になっている(自己肯定感が育まれている)ことが大切**です。ママはちゃんと聞いてくれる、分かってくれる、受け入れてくれるという安心感があれば、また友だちの中に戻っていきま。『貸して』『入れて』と言ってごらん」と方法を教えてあげるのもいいでしょう。必要な時に**言葉で伝えてあげましよう**。



いろいろな人と関わることで対人関係は学んでいけるので「にじっ子」などの**子どもが集まる場所へ連れていくことがいい**でしょう。異年齢の子どもの様子も分かるので安心しますし、先輩ママと話しているうちに悩みも解消できていくと思います。

また、**絵本で「思いやり」を伝える**方法もあります。されてしまった悲しさもわかるし、どうすれば解決するかを考える材料になります。「いもうとのにゅういん」(作: 筒井頼子 絵: 林明子)「くれよんのくろくん」(作絵: なかやみか)「ほんとはちがうよ」(作絵: かさいまり)などがお薦めです。

この時期に大切なのは自己を主張するということなので、ちゃんと2歳児の発達段階に達している・順調に育っているとゆったいかまえ、3歳・4歳へとつなげていましよう。 (文: 佐藤 裕子)

ほっとさんの教え (臼杵市家庭教育10か条)の中から

② あいさつしあうと 子どもと心が通じあうよ

臼杵市家庭教育方針に「**自らすすんで多くの人と関わり、子育ての知恵や工夫を学ばましよう**」とあります。今日も「にじっ子」で親子共々楽しく学びができています。コミュニケーション力をいっしょに育てていましよう。





にじっ子ひろば

2020・3・5

「春が来た」

- 1 はるかきた はるかきた どこにきた
 やまにきた さとにきた のにもきた
- 2 はながさく はながさく どこにさく
 やまにさく さとにさく のにもさく
- 3 (替え歌) はるかきた はるかきた
 どこにきた あなたにきた 私にきた
 にじっこちゃんに きた



時間	活動内容
9:30	受付・自由遊び
10:00	ごあいさつ「さんぽ」歌「春がきた」
10:25	閉級式 *できなくて残念! ・がんばったで賞、記念品渡し ・課長 あいさつ ・ボランティアさん感謝状進呈 ・スタッフより
11:10	成長を喜びあおう ・かけっこ ・玉入れ
11:20	垂井先生の話
11:35	体操「手のひらを太陽に」
11:40	さようなら

◎次回予定「令和2年度 開級式・おさがりマーケット」
 5月14日(木) 受付9時30分～開始10時
 場所:臼杵市中央公民館 和室 問い合わせ:63-6444

「し、あ、わ、せ」の 四つ葉のクローバー

基本的生活習慣 (しつけです)

- ◇ 食・寝・遊・排泄
- ◇ あいさつ
- ◇ 片づけ・手伝い
- ◇ 時間(の意識)

三つ子(3歳)
 の魂 百まで



※教えられてないことは身につけていない。



心育ての場

- ① 家族とのつながり
- ② 多くの人とのつながり
- ③ 自然・ものとのつながり



この根っこは 家庭(か・て・い)
か……かぞく(かあさん)が
て……てづくりで
い……いのちを育む ところ